

第6学年 道徳科指導案

令和 年 月 日 () 校時

西崎小学校〇年〇組〇名

指導者 印

本時の指導と児童の活動

(1) 本時のねらい

自分らしさを大切にし、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度を育てる。

(2) 本時の展開

課程	学習活動 (内容)	主な発問 予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 ⑤分	1.好きな色の折り紙をとる。 (赤・黄・青・緑・黒・オレンジ・紫・ピンク・その他) 2.様々な動物とりつのイラストを見せ、男の子か女の子かを問う。	【発問】 グループの友達と自分の選んだ色を見比べて気づいたことはありますか。 ・みんな違う・なんとなく ・好きだから 【発問】 このねこは男の子？女の子？ ・リボンがついているから女の子	○友達との選んだ色の違いに気づき、自分の選んだ色の好きな理由もおさえる。 ○見たままを答えさせる。理由もおさえる。
展開一 ⑩分	3.絵本「りつとにじのたね」の読み聞かせをPPで聞く。りつがくまのくにに帰ると決めた場面で切る。 4. 話の内容を確認する。 5. りつがくまのくにに帰ると決めたのはなぜか考える。	【発問】 りつがくまの国へ帰ると決めたのはなぜですか。 ・自分らしくいていいとわかったから。 ・自分らしくいることは変じゃないとわかったから。 ・自分に自信が持てたから。 ・自分の生まれ育った国だから。 ・ぼみみたいなくまも普通だよと伝えたい。	○自分らしくいていいこと、みんな一人一人違うことは変じゃないということを確認する。りつの心の変化を確認する。
展開二 ⑮分	6. りつがくまのくにに帰った後のことを予想しグループで話し合う。	【中心発問】 くまのくにに帰った後りつは本当に自分らしく過ごしていたのかな？ ・自分らしく過ごせた。決心したから。りつは変わったから。 ・やっぱりくまのくには何も変わってないからまたいじめられた。	○自分自身が変わっても、周りが変わらないとこれから先自分らしくすごしていくことは難しいということ子ども達の意見として出させる。

<p>終末 ⑮分</p>	<p>7. 絵本「りつとにじのたね」の続きを読む。りつといじめっ子達が最後どのような関係になったか確認する。</p> <p>8. 絵本の世界から現実の世界に目を向けて考える。</p> <p>9. 振り返り</p>	<p>【問い返し】でも、くまの国は何も変わってないのに本当に自分らしくいられるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ん～できないかも。 ・怖い。 ・やっぱり周りの目が気になる。 <p>【発問】この人は誰ですか。この人達は自分らしく生きていますか。</p>	<p>○りつ自身の気持ちは変わったが、周りが変わっていないことを確認し、それでも自分らしくいられるのか問い返す。</p> <p>○最終的にいじめていた子達もりつを認め、りつに対する気持ちが変わったことをおさえる。自分らしく生きていける社会をつくるには、お互いに相手を認め合い、自分と違う人も大切にしていけることが大事だということを確認する。(西中制服選択制度について触れる)</p> <p>○芸能界で活躍している有名人をスライドで出し、この人達は自分らしく生きていますか問う。</p> <p>○これまでの自分を振り返り、今日学んだこと、これからの自分について考えまとめる。</p>
------------------	--	---	--

3. 取り組み

授業始めに配った折り紙を自分のにじの種として、自分の好きな花を作り、「にじいろの花壇」として学年掲示する。

くまのくにかえった後、りつは自分らしく過ごしていたのかな。

2/26(水)第3回りつとにじのたね

なぜその色を選んだのか。
○空の色だから ○好きだから
○なごみなく ○おしめ人の色

くまのく



ちがうけども、いいことだよ!



男のくせに死が好きなんでへんなの。
死かきほさないなんておかしいよ!



くまのくんのくまのく



ここいれはぼくはぼくのままていうわ。

ずっとここにいていいんだよ。

りつがくまのくへ帰ると決めたのはなぜだろう。

くまのく

自分らしくすごしていた ⇒ 自分らしくいいことを伝えていった。
⇒ りつがたいなくまを集めて伝えた。

⇒ にじのくにて強くなつた(験)

自分らしくすごせかけた ⇒ 新しいじめられた。



ぼくは好きなものを好きでいいだけなの。

くまのく

くまのくにいる自分みたいの人に
自分の手でいいんだよと伝えたい。

- 自分のよさをみんなに伝えたい。
- 堂々と生きてい、自分かくまのくを変えたい。

